

令和4年度

第11回 関東学院大学カップ



主催 関東学院大学

主管 関東学院大学硬式野球部

後援 金沢区少年少女ソフトボール連盟

神奈川県少年ソフトボール連盟横須賀支部

協賛 BASEBALL SHOP KUROSP0

主催者・大会役員

【主催者】

関東学院大学 学 長 小山 巖也

【主 管】

関東学院大学硬式野球部 部 長 四宮 正親
副部長 奈良 堂史
監 督 三森 俊貴

【大会役員】

金沢区少年少女ソフトボール連盟 理事長 中村 日出夫
神奈川県少年ソフトボール連盟横須賀支部 支部長 宮川 交立

【審判代表】

金沢区少年少女ソフトボール連盟 審判長 中川 真由紀
(大会ルール及びグラウンドルール説明)

全体の流れ

会期及び場所	令和4年12月3日(土) 関東学院大学金沢文庫キャンパス ギオンパーク
監督・主将会議	関東学院大学金沢文庫キャンパス ギオンパーク(野球場) 午前8時30分から
開 会 式	行わない
関東学院大学カップ	関東学院大学金沢文庫キャンパス ギオンパーク(野球場) 監督・主将会議終了後(第一試合開始は午前9時30分予定)
始 球 式	第一試合、第二試合それぞれ行う 第一試合 関東学院大学硬式野球部 部 長 四宮 正親 第二試合 関東学院大学硬式野球部 副部長 奈良 堂史
表 彰 式	関東学院大学金沢文庫キャンパス ギオンパーク(野球場) 関東学院大学カップ終了後(午後3時45分予定)

表彰式

- 選手・役員整列 参加チームの選手はマウンド付近に並ぶ
役員・審判は一塁側に並ぶ
指導者は三塁側に並ぶ
- 主催者挨拶 関東学院大学硬式野球部 副部長 奈良 堂史
- 表 彰 優 勝 代表3名 表彰状・優勝旗・優勝カップ
準優勝 代表2名 表彰状・盾
第三位 代表2名 表彰状・盾
敢闘賞 代表2名 表彰状・盾

*雨天の場合(当日7時判断)

室内練習場で野球教室

その後、体育館にてドッチボール大会で勝敗を決める

大会要項

- 競技規則 本年度オフィシャルソフトボールルールによる
また、以下の特別ルールを適用する
- (1) 競技場は状況に応じて特別ルールを設ける
 - (2) 1回戦から決勝戦まで
 - (ア) 試合時間を70分7回戦とし、65分を超えて新イニングに入らない
同点の場合は抽選にて決定する
 - (イ) 三位決定戦及び決勝戦はタイブレーカーを1回まで行い、それでも決着がつかない場合は抽選にて決定する
 - (ウ) コールドゲームは荒天、日没時は5回終了時で成立
得失点差によるコールドゲームは適用しない
 - (3) 登録選手は各チーム20人以内とする
 - (4) ベースコーチは登録された選手のみとする
 - (5) ベンチはトーナメント表の左側のチームを一塁側とする
 - (6) 試合前のフィールディング(シートロック)は5分以内とし、2試合目からは行わない
 - (7) 打順表(フリガナ記入)は、前の試合3回終了時までには4部提出する
- 注意事項
- (1) 傷害については各チームが応急処置を行い、負傷については主催者といえども一切の責任を負わない
 - (2) 球場内での喫煙は禁止する
 - (3) 出場チームは必ず監督によって引率され、監督は選手の全ての行動に対して責任を負うものとする
 - (4) 車の乗り入れは各チーム7台以内とする
(大会当日は事前に配付した駐車票を必ず車内に掲示すること)
 - (5) 開門は第一試合のチームは8時00分、第二試合のチームは9時30分とする
 - (6) 試合前の投球練習は両サイドブルペン付近にて行うこと
芝生での投球練習は禁止する
 - (7) バッティング練習はアンツーカーの上で行うこと
 - (8) 各チームの陣地はスタンドを使用するが、チームごとに紐で分けするので
役員の指示に従うこと
 - (9) フィールド内の選手以外はマスクを着用すること
 - (10) 健康管理表の作成について
関東学院大学指定の様式を使用し、参加者(スタッフ・選手・保護者・応援者)ごとに
当日の検温・健康状態を記入、2部提出すること(学校・守衛に必要)
チームで一枚の用紙にまとめることは出来ないので注意すること
各チーム、学校分・守衛分と分けて取りまとめ事務局に提出すること
役員・関係者・審判も同様に各自2部提出すること